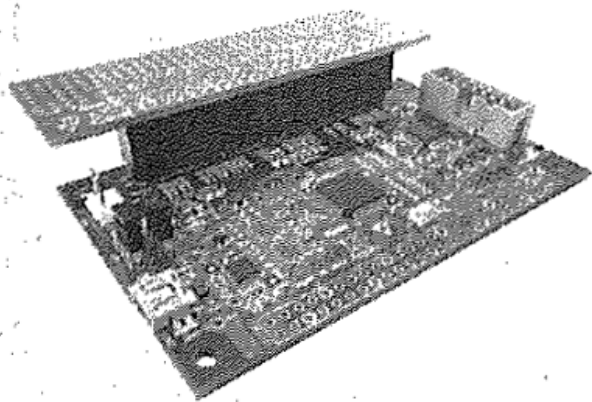


ルネサス製IC「スマートアナログ」

アナログ回路
簡単に設計

明光電子が拡販強化



20日から販売を開始するSmart Analog IC搭載評価ボード「TSA-IC500-A」

評価ボード20日発売

営業全員でユーザーに提案

明光電子は、ルネサスエレクトロニクス製IC「Smart Analog」のaalogの良さを確かめられる。明光電子では、全営業人員が同ICの提案を行い、20日から発売する。

望みの特性を得るためアナログICの付け替えが必要で、開発期間は数週間、場合によっては数カ月要した。一方、Smart Analogは、評価ボードにセンサーを実装し、パソコンと接続。ルネサスから無償提供されるGUIベースの開発評価ツール「Smart Analogイージースターター」を使い、マウス操作で回路構成や各アナログ部品の特性を決定。AFE「RAA73050」の出力波形を確認しながら回路の最適化が行える。

「センサーを使用する、あらゆるユーザーへ提案する」と十川正明社長は語る。

ソフトで構成が変更

AFE回路は、センサーの種類に応じて、部品の構成や各部品の特性を変更する必要があり、Smart Analogの最大の特徴は、チップ内に搭載するアナログ部品、フィルタなどのアナログ部品の構成、特性をソフトウェアで変更できるという点にある。

Smart Analogは、11年にルネサスが発表

した新しいコンセプトのICは、従来のAFE回路の設計の校正も行える。

早ければ数時間で

これにより開発時間は「早ければ数時間で終わる」（明光電子）。

「東京、大阪、福岡の各拠点で、11種類のセンサーを使ったデモを行える体制も整えている。産業機器市場を中心に、あらゆるユーザーに販売していく」（十川社長）。

従来のAFE回路の設計の校正も行える。

「早ければ数時間で終わる」（明光電子）。